

豊明市行政評価制度 「施策」 評価票

施策評価票番号（所属連動番号）	4
-----------------	---

1 ■ 施策の概要

1 - 1 施策の名称	火葬場・墓地				基本施策コード	1—1—4
1 - 2 担当	部	市民部	課 又は施設	環境課	評価票作成者	環境課長 加藤 慎
1 - 3 総合計画に おける施策の体系	節	生活環境「安全・安心で、うるおいのあるまちづくり」				
	項	環境保全				
1 - 4 施策の目的	市民ニーズに対応した火葬場・墓地の確保をめざす					

	平成 2 2 年度評価 （前期の成果）	平成 2 7 年度評価 （全期間の成果）
担当課評価	A	
総合評価	A	

- 施策評価の判定基準
A ： 施策の目的を効果的に達成しているので継続する
B ： 施策推進の実施手法等に改善の必要がある

1 - 5 総合計画に おける基本成果指 標		基本成果指標名	前期（平成 1 8 年度～平成 2 2 年度）			全期間（平成 2 3 年度～平成 2 7 年度）			指標の定義
			目標値（単位）	実績値（単位）	達成率（％）	目標値（単位）	実績値（単位）	達成率（％）	
		墓園の区画数	3 ， 0 3 1 （区画）	3031	100	3 ， 3 5 9 （区画）			設置数

2 ■ 施策の担当課による評価結果

評価の内容		今後の環境変化を踏まえた課題認識	既存事業の構成や優先順位の考え方、新規事業の必要性の考え方	施策の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
	平成18年度	高齢化社会を迎え、衛生的な生活環境を維持するために、火葬場・墓地が必要である。	関係市町の相互協力による火葬場の維持と現在保有する勅使墓園の有効活用を図る必要がある。	関係市町との事務レベルでの協議（火葬場）。現有墓所の資金計画と今後の方針の確認作業を実施。
	平成19年度	〃	〃	現有墓所の資金計画と今後の造成計画を立案した。
	平成20年度	市民に供給できる墓所が残りわずかになったため、次の造成計画に取り組む必要がある。	関係市町の相互協力による火葬場の維持と今後のあり方を検討する必要がある。	早期に造成工事に着手できる環境を整える必要がある。
	平成21年度	〃	火葬場の維持と今後のあり方を検討する必要がある。	22年度設計に際し面積による比率を検討する。
	平成22年度	住民ニーズにあわせた墓園・火葬場の整備を目指す。		
	平成23年度			
	平成24年度			
	平成25年度			
	平成26年度			
	平成27年度			

3 ■ 参考情報

[illegible]